

今後の進め方（座長・副座長提案）

前回の検討会議での意見を踏まえ、以下の諸点に留意して、WEB会議にて議論を継続してはどうか（当面月1～2回程度）。

- 選抜区分ごとの実態調査（～9月中旬、大学に対する意見募集を含む）、WEBによる意見募集（～9月上旬）の結果を踏まえた議論を行う。
- 英語4技能の評価、記述式出題のあり方に加え、ウィズコロナ・ポストコロナ時代の大学入試のあり方についても議論を行う。
（例：共通テストと個別試験の関係、一般選抜と総合型選抜・学校推薦型選抜の関係、入試におけるデジタル化等）
- 大学入学共通テストについては、個別試験との役割分担、基礎的な学習の達成度の判定という試験の目的を踏まえ、そのあり方について議論する。
（例：科目等の精選、セーフティネットとしての役割等）
記述式や英語4技能評価のあり方についてはその方向性も踏まえて判断する。
- 必要に応じ、関係団体等から再度の意見発表を行っていただく。
- 来年1月に予定されている第1回大学入学共通テスト等の実施状況も踏まえて議論を行う。
- 取りまとめに当たっては、具体的な案に基づき、十分な議論の時間を確保する。

※ 新学習指導要領に対応した令和6年度実施の大学入試に係る予定の通知を、令和3年夏に行うことが必要。

※ 取りまとめに当たっては、令和6年度実施を目指すもの、更にその先を目指して議論すべき課題などを整理して検討することが必要。